

Ⅱ 保健・福祉

基本施策 6 健康づくり

◆現況と課題

- 小牧市では平成 16 (2004) 年度に「健康こまきいきいきプラン」を策定し、市民が生涯にわたって、健康でいきいきと暮らしていけるよう、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むとともに、家庭、地域、社会全体で支援する環境づくりを推進してきました。
- その後、従来の健康指標の評価を行い、今後取り組むべき課題を明確にするとともに、新たに提唱されたメタボリックシンドローム等の生活習慣病予防に対する新たな項目を加えるなど、平成 21 (2009) 年度に本プランの中間見直し (計画期間：平成 22 (2010) ～26 (2014) 年度) を行いました。
- 現在、小牧市では、本プランのもと、市民が積極的に健康づくりに取り組み、社会全体が支援する元気でいきいきとした長寿社会を目指し、市民が健康づくりの知識・技術を身につけていくための健康教育や各種の健康診査及び予防接種の実施等を通じ、市民の健康づくりの支援に取り組んでいます。
- 今後は、乳幼児から高齢者に至るまで、市民一人ひとりのライフステージに応じた各種健康診査・検診の充実等により、疾病の早期発見・早期治療を促進する必要があります。
- また、より多くの市民が自らの健康に対して目標を持ち、主体的に生活習慣の改善や健康増進に取り組むことができるよう、各種健康教育の場や相談の場の提供等を通じ、健康に関する正しい知識の普及と健康管理の重要性に対する意識 **を高めるの向上を図る** 必要があります。

◆基本施策の目的及び体系

生涯にわたって元気でいきいきと暮らすことができるよう、市民が積極的に健康づくりに取り組み、それを社会全体で支援する環境づくりをおこないます。

基本施策 6 健康づくり

展開方向 1 心と体の健康づくりへの取組みを支援します

展開方向 2 親子が健やかに育み合うことを支援します

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
健康寿命	歳	健康寿命の算出方法の指針により、人口、年齢別人口、年齢別死亡数、年齢別要介護 2～5 の認定者数を利用し算出（保健センター）	●	●
<u>健康づくりに取り組んでいる人の割合</u>	%	<u>「健康づくりに取り組んでいる」と回答した市民の割合(アンケート調査)</u>	●	●

◆基本施策の展開方向 1：心と体の健康づくりへの取組みを支援します

【目的】

- 市民一人ひとりが、自分の健康状態や年齢に合わせ、主体的に健康づくりに取り組むことができる環境を整えます。
- 病気の予防・早期発見・重症化予防を図ります。
- 市民主体の健康づくりを支援します。

【手段】

- ①心と体の健康づくりに関する相談や各種教室などを開催します。
- ②各種検診を継続的に実施します。
- ③保健連絡員活動などの市民主体の地域づくり活動を支援します。
- ④健康づくりや生きがいづくりに関する講座やイベントの参加を促すとともに、検診の受診率を上げる仕組みの検討を進めます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
早世（壮年期死亡率）	%	40～64 歳の死亡数（愛知県衛生年報第 10 表）÷40～64 歳人口（長寿介護課データ）（保健センター算出）	●	●
生活習慣の改善にすでにとりくんでいる人及び今後改善してみようと思っている人の割合	%	「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか」で、「改善するつもりはない」以外を回答した人の割合（特定健康診査及び健康診査用質問票の間 21）	●	●
胃がん検診（集団・個別）の受診率（男女平均）	%	受診者数／40 歳以上の人口－（就業者数－農林水産業従事者数）（地域保健・健康増進事業報告）	●	●
大腸がん検診（集団・個別）の受診率（男女平均）	%	受診者数／40 歳以上の人口－（就業者数－農林水産業従事者数）（地域保健・健康増進事業報告）	●	●
子宮がん検診（集団・個別）受診率	%	受診者数／20 歳以上の人口－（就業者数－農林水産業従事者数）（地域保	●	●

		健・健康増進事業報告)		
乳がん検診（集団）受診率	%	受診者数／40歳以上の人口－（就業者数－農林水産業従事者数）（地域保健・健康増進事業報告）	●	●
保健連絡員等が主体的に計画する健康教室等の回数	回	保健連絡員等が主体的に計画する健康教室等の回数（こまきのけんこう）	●	●
保健連絡員等が主体的に計画する健康教室等の延べ参加者数	人	保健連絡員等が主体的に計画する健康教室等の延べ参加者数（こまきのけんこう）	●	●
<u>自分自身を好きと言える市民の割合</u>	<u>%</u>	<u>「自分自身を好き」といえる市民の割合（アンケート調査）</u>	<u>●</u>	<u>●</u>

◆基本施策の展開方向 2：親子が健やかに育み合うことを支援します

【目的】

○親子が心身健やかに共に育み合うことを支援します。

【手段】

① 健診や相談、教室などにより子どもの発育や発達に応じた支援を進め、保護者の育児不安を軽減します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
乳幼児健診受診率	%	4か月児、1歳6か月児、3歳児健診の平均（こまきのけんこう）	●	●
ゆったりとした気持ちで育児できている保護者の割合	%	4か月児、1歳6か月児、3歳児健診の平均（県母子健康診査マニュアル）	●	●
相談相手がいる保護者の割合	%	4か月児、1歳6か月児、3歳児健診の平均（県母子健康診査マニュアル）	●	●
「自分自身を好き」といえる子の割合	%	「自分自身を好き」といえる <u>小</u> 中学生の割合（アンケート調査）	●	●

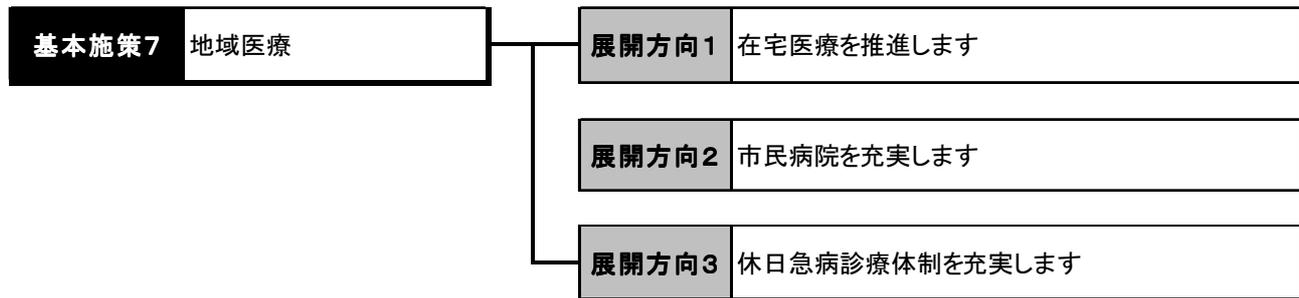
基本施策 7 地域医療

◆現況と課題

- できる限り住み慣れたところで生活を続けていくためには、在宅で必要な医療の提供が受けられる環境、体制整備が必要です。
- 市民病院は、尾張北部医療圏の中核病院として、救命救急センターの設置や最新医学による高次医療、緩和ケア病棟の建設など、その役割を十分に発揮しています。引き続き、医療機能の維持・向上と経営の健全化に努める必要があります。
- ~~○市民病院が尾張北部医療圏の中核病院として、その役割を十分に発揮できるよう、医療機能の維持・向上と経営の健全化に努める必要があります。~~
- 高齢化の進行に伴い、小牧市でも今後さらに医療に対するニーズは高まると考えられます。このため、急性期医療・高度医療は市民病院、回復期は回復期リハビリテーション病院など、普段の健康管理や初期の治療などはかかりつけ医が担う、つまり地域全体で患者を診ていく必要があります。
- 市民に対し、病院・診療所の機能分担と連携を図る地域医療連携について、さらに周知を図る必要がありますが、市民病院は市外在住の患者も多いことから、市内だけでなく市外に向けた周知方法も検討する必要があります。
- 市民が安心して休日にも救急医療を受けられるよう、日曜日・祝日等の休日に市内診療所を補完する内科・小児科・外科・歯科の急病人の応急治療に対応する休日急病診療所の周知を進める必要があります。

◆基本施策の目的及び体系

地域の医療機関が機能に応じて役割を分担し、市民のだれもが個々の状況に応じた適切な医療を受けられるよう、地域医療の充実を図ります。



◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
市内の医療体制に満足している市民の割合	%	「市内の医療体制に満足していますか」という問いに「はい」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
市民病院の連携登録医療機関数	ヶ所	同左	●	●

◆基本施策の展開方向 1：在宅医療を推進します

【目的】

- できる限り住み慣れたところでの生活の継続を図ります。
- 介護サービスと連携し、~~生活を図ることで~~生活の質を**高めの向上を図り**ます。
- 安心な老後の生活環境を提供します。

【手段】

- ①多職種連携ケアによる在宅医療の仕組みを構築します。
- ②地域の多職種（居宅介護支援専門員、訪問看護師等）が参加する合同研修会などを実施します。
- ③在宅医療の普及のための啓発を行います。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
往診や訪問診療を行う市内医療機関等の数（医科、歯科、薬科）	ヶ所	往診や訪問診療を行なう市内の医療機関等の数（小牧市医師会等より長寿介護課とりまとめ）	●	●
多職種（居宅介護支援専門員、訪問看護師等）による研修会の開催回数	回	多職種を対象にした研修会の開催回数	●	●
在宅で医療を受けている市民の数	人	在宅で医療を受けている市民の人数	●	●

◆基本施策の展開方向 2：市民病院を充実します

【目的】

- 個室などの増床による入院環境、作業スペースなど医療スタッフにとって活動しやすい職場環境の整備、来院者にとってわかりやすい受付体制や診察室等への動線の確保など病院を利用する人の利便性を高めます。
- 第三次救急医療やがん診療連携拠点など高次医療病院として、地域に必要とされる医療の体制を充実します。
- 待ち時間の短縮や過ごし方、接遇の向上など患者の満足度を高めます。

【手段】

- ①将来を見据えた建替を進めます。
- ②医療機器の整備や医療スタッフの確保を進めるとともに、健全な経営を進めます。
- ③他の病院・診療所との連携を進めます。
- ④地域連携による外来患者の分散化や医療スタッフへの接遇研修などを行います。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
紹介率	%	他の医療機関からの紹介により市民病院を受診した患者の割合	●	●
逆紹介率	%	市民病院から他の医療機関を紹介した患者の割合	●	●
病院職員数	人	同左	●	●
小牧市民病院の市民満足度	%	「小牧市民病院に満足している」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●

◆基本施策の展開方向 3：休日急病診療体制を充実します

【目的】

- 日曜、祝日に急病患者が安心して一次医療を受けることができるようにします。

【手段】

- 休日急病診療体制の整備と、必要な受診につながるよう市民へ周知します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
日曜日又は祝日に受診できる市内診療所数（医科・歯科）	ヶ所	日曜日又は祝日に受診できる市内の診療所の数 （小牧市医師会・歯科医師会を通して保健センターとりまとめ）	●	●
休日急病診療所における急患数（医科）の割合	%	休日急病診療所における、急患数÷総数	●	●

基本施策 8 高齢者福祉

◆現況と課題

- 平成 23（2011）年 10 月に 18.6%であった高齢化率が、平成 25（2013）年 3 月に 20.1%となりました。平成 27（2015）年には 23.2%に伸長すると予想され、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯、認知症高齢者の増加が見込まれています。
- このような背景のもと、平成 24（2012）～26（2014）年度を計画期間とする「第 5 次小牧市高齢者保健福祉計画」において、地域で暮らす高齢者の自立を支援する地域包括ケアシステムづくりを推進しています。
- 今後は、元気な高齢者が、いつまでも生きがいを持ち、いきいきと自立した生活を送るために、心と身体の健康の保持ができ、活躍できるような場づくりをする必要があります。
- 活躍できる場づくりとして、何かに取り組みたいがどこに行けばよいか分からない高齢者のコーディネートができる窓口が必要です。また、支援が必要な高齢者が地域で暮らし続けることができるように、地域での支えあいの仕組みを構築し、見守りネットワークの網を細かくする必要があります。地域を支えるためのリーダーの発掘も必要です。

◆基本施策の目的及び体系

高齢になっても、心身の健康を維持し、生きがいを持てるようにするとともに、介護や支援が必要となっても、住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けることができる環境・仕組みを整えます。

基本施策 8 高齢者福祉

展開方向 1 高齢者の社会参加と生きがいを支援します

展開方向 2 高齢者の在宅生活を支援します

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
介護や支援を必要としていない高齢者の割合	%	要介護認定を受けていない 65 歳以上の被保険者の割合	●	●
生きがいをもって生活している高齢者の割合	%	「生きがいをもって生活している」と回答した高齢者の割合（アンケート調査）	●	●

◆基本施策の展開方向 1：高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援します

【目的】

- 生きがい活動から社会貢献活動まで、高齢者が長年培ってきた技術や経験を社会で発揮できるようにします。
- 地域における人とのつながりやふれあいを感じられるようにします。

【手段】

- ①シルバー人材センターを支援するとともに、地域活動やボランティア活動などを通じて地域の一員として活躍できる環境を整備します。
- ②高齢者が生涯学習やスポーツ活動などに積極的に参加できる環境を整備します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
シルバー人材センター会員数	人	シルバー人材センターの会員数	●	●
シルバー人材センター会員の就業率	%	シルバー人材センター会員のうち就業した会員数/シルバー人材センター会員数×100	●	●
地域活動やボランティア活動に積極的に参加している高齢者の割合	%	65歳以上の市民のうち「地域活動やボランティア活動に積極的に参加している」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
生涯学習やスポーツ活動などに積極的に参加している高齢者の割合	%	65歳以上の市民のうち「生涯学習やスポーツ活動などに積極的に参加している」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●

◆基本施策の展開方向 2：高齢者の在宅生活を支援します

【目的】

- 健康で自立した高齢者を増やします。
- 住み慣れた場所で自立した暮らしを続けられるようにします。
- 認知症になっても家族と安心して生活できるようにします。

【手段】

- ①介護保険制度の見直しが見込まれる中、介護予防事業の再編を行い、効果の高い介護予防事業の提供を図ります。
- ②地域包括支援センターや医療機関、関係事業所など介護・医療・福祉が連携し、必要なサービスを提供し、生活全般にわたり地域の高齢者を支える体制を構築するとともに、コーディネートできる役割を担う人材の育成を行います。

【資料 1-2】Ⅱ 保健・福祉

③「認知症見守りネットワーク¹」を再構築するとともに、既存の組織や活動を活用して、地域における見守りや支えあいのネットワークや体制を構築します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
介護予防事業参加者数	人	介護予防事業の参加者数	●	●
地域包括支援センターの利用者数	%	65 歳以上の高齢者のうち、市内 4 箇所 の地域包括支援センターを利用 した人の割合	●	●
認知症見守りネットワーク会員数	人	認知症見守りネットワークに登録 している会員数	●	●
認知症サポーター養成講座受講者数	人	認知症サポーター養成講座を受講した人の数	●	●

¹徘徊し行方の分からなくなった高齢者の情報を、事前に協力員として登録していただいた方に、メールや FAX で身体の情報などを配信します。協力員の方が、外出される時などに、いつもより少し周りを気にかけていただくことで、徘徊者の早期発見・保護につなげる取組み **を通じて、地域における理解や、日頃の見守り活動をしていく取組み**

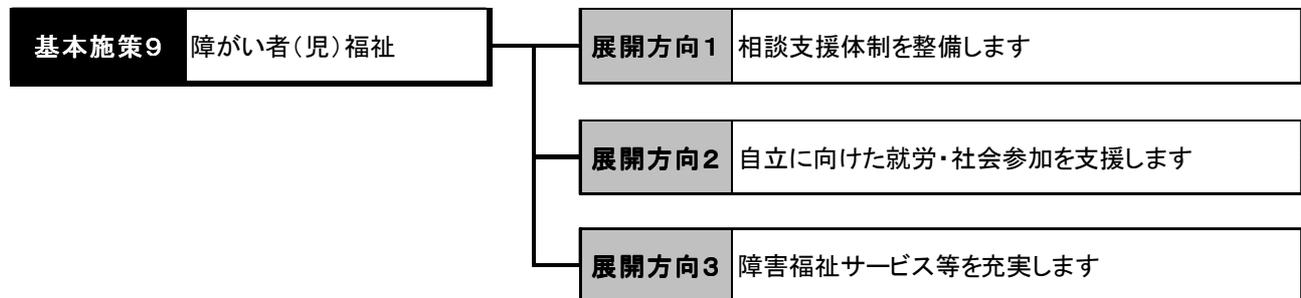
基本施策 9 障がい者（児）福祉

◆現況と課題

- 平成 21（2009）年 3 月に、障がいのある人が安心して暮らし続けるための総合的な施策を推進するため、障害者基本法に基づく「第 2 次小牧市障がい者計画」を策定しました。
- 平成 24（2012）年 3 月に、障害福祉サービス等の提供体制の確保を図るため、障害者自立支援法（現：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）に基づく「第 3 期小牧市障がい福祉計画」を策定しました。
- 生活介護や就労支援施設への通所を希望される市民数が、施設定員を上回る状況となっています。移動支援の充実に対するニーズが高くなっているとともに、親の高齢化等に伴いグループホームのニーズが高くなっています。
- これらのニーズを踏まえつつ、障がい福祉計画に基づく適正なサービスの確保が必要です。また、障がいのある人の自立を支援するための就労支援や、子どもの障がいを早期発見・支援するための療育支援を強化する必要があります。さらに、身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳を所有される人が毎年 200 名程度増加する傾向の中で、相談支援の強化が必要となっています。

◆基本施策の目的及び体系

障がいのある市民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、自立した日常生活または社会生活を営み、安心して暮らすことができる環境をつくります。



◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
平成 24 年度以降に施設入所から地域へ生活の場を移した市民の人数（累計）	人	小牧市の支給決定者のうち、施設入所から地域へ生活の場を移した市民の数	●	●
グループホーム利用者数	人	小牧市の支給決定者のうち、グループホーム利用者の数	●	●

◆基本施策の展開方向 1：相談支援体制を整備します

【目的】

○障がいのある人および保護者が安心して生活を送ることのできる環境を整備します。

【手段】

○権利擁護、障害者虐待防止、成年後見制度など各制度の啓発に取り組むとともに、相談支援体制を強化します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
相談の件数	件	市内の相談支援事業所への相談件数	●	●
相談支援専門員の人数	人	市内の相談支援専門員の人数	●	●

◆基本施策の展開方向 2：自立に向けた就労・社会参加を支援します

【目的】

○障がいのある人の自立を促進し、生きがい活動などを増進します。
○就労機会の拡大や職場定着を図ります。

【手段】

①就労や社会参加の支援を進めます。
②福祉的就労の工賃アップのため障害者支援施設等からの物品やサービスの調達を進めます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
民間企業における障がい者の雇用率（ハローワーク春日井管内）	%	ハローワーク春日井管内での民間企業における障がい者の雇用率（ハローワーク春日井）	●	●
小牧市雇用促進奨励金支給企業数	社	小牧市雇用促進奨励金を支給している企業の数	●	●
小牧市雇用促進奨励金支給対象者数	人	小牧市雇用促進奨励金を支給している市民の数	●	●
障害者支援施設等への物品等の発注数	件	市役所が市内の障害者支援施設等へ物品等を発注した数	●	●

◆基本施策の展開方向 3：障害福祉サービス等を充実します

【目的】

○障がいのある人が地域で自立した日常生活を送れるよう地域生活を支援するサービスを充実します。

【手段】

- ①訪問系サービス¹や日中活動系サービス²などの支援・拡充を進めます。
 ②障がいのある子と親に対する療育支援を進めます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
あさひ学園利用者の満足度	%	あさひ学園に満足している利用者の割合	●	●
訪問系サービスの利用者数	人	障がい福祉サービスのうち訪問系サービス（居宅介護など）を利用している市民の数	●	●
日中活動系サービスの利用者数	人	障がい福祉サービスのうち日中活動系サービス（生活介護、就労支援など）を利用している市民の数	●	●

¹ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）における居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援をいい、自宅で入浴、排せつ、食事等の介護を行うなどのサービスを提供する。

² 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）における生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、療養介護をいい、施設における入浴、排せつ、食事等の介護、就労訓練や簡易なものづくりの機会の提供などのサービスを提供する。

基本施策 10 地域福祉

◆現況と課題

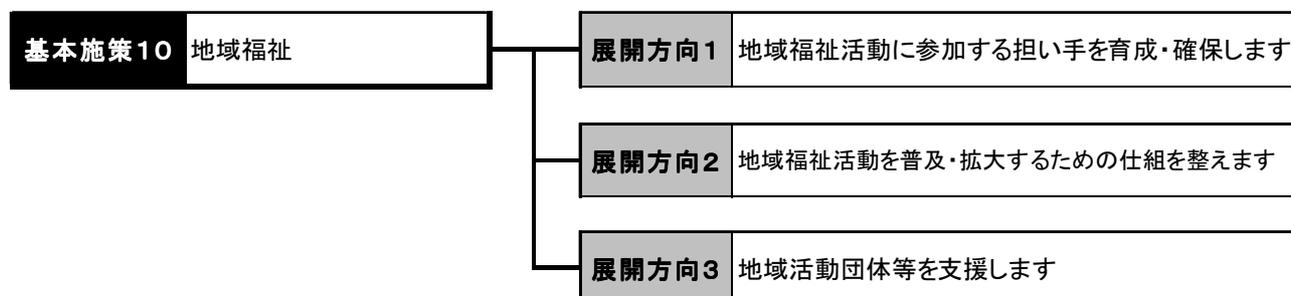
○小牧市では、平成 24（2012）年 3 月に小牧市社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」と一体的に「小牧市地域福祉計画」を策定しました。「あなたが主役 助け合いの輪でつながるまち こまき」を基本理念とし、地域課題への取組と役割を示し段階的に展開していくこととしています。

○地域には、ひとり暮らしで生活や健康に不安のある高齢者、老老介護の世帯、育児不安を抱えた子育て家庭、安心して自立した生活を継続したいと思っている障がいのある方などがおられ、公的サービスのすき間を補う身近な地域の支援が求められています。

○地域のつながりが薄れ、地域でお互いが助け合い、支え合うといった相互扶助の機能が失われつつありますが、今後は、失業や疾病、高齢等の理由から、個人の力では対応できない生活上の問題が発生した場合でも、市民一人ひとりが安心して暮らせるよう、地域住民やボランティア団体、福祉関係者、学校、企業など多様な主体との連携・協力のもと、福祉のまちづくりを総合的かつ計画的に推進する必要があります。

◆基本施策の目的及び体系

地域住民みんなが支え合って共に生きるという共通認識を持ち、地域で安心して暮らすことができる環境・仕組みを整えます。



◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
地域福祉活動に参加している市民の割合	%	「地域福祉活動に参加している」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
地域で支えあって安心して暮らしている市民の割合	%	「地域で支えあって安心して暮らしている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●

◆基本施策の展開方向 1：地域福祉活動に参加する担い手を育成・確保します

【目的】

○地域福祉活動に参加している人を増やします。

【手段】

- ①ボランティア活動の普及、啓発を**実施し**回ります。
- ②気軽にボランティア体験ができるなど、ボランティア活動に参加しやすい環境整備を進めます。
- ③ボランティア活動を行った場合にポイントが得られるボランティアポイント制度の検討を進めます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
ボランティアセンターへの相談件数	件	社会福祉協議会ボランティアセンターへのボランティアに関する相談件数	●	●
ボランティアセンター登録者数	人	社会福祉協議会ボランティアセンターへの登録者数	●	●

◆基本施策の展開方向 2：地域福祉活動を普及・拡大するための仕組みを整えます

【目的】

- 地域の住民同士がお互いに支え合う地域福祉活動を推進します。
- 要介護者や障がい者（児）、妊産婦及び乳幼児、ひとり暮らし高齢者世帯などの要援護者の支援体制を強化します。

【手段】

- ①地域住民の福祉意識を高めるとともに、地域福祉推進基礎組織の設立を進めます。
- ②支援を必要とする地域住民の情報を整理した要援護者台帳の整備を進めます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
地域福祉推進基礎組織（ご近所福祉ネットワーク）の設立数	団体	小学校区を単位とした地域福祉推進基礎組織が設立された数	●	●
災害時要支援者台帳の登録者数	人	災害時要支援者台帳へ登録している市民の数	●	●

◆基本施策の展開方向 3：地域福祉活動団体等を支援します

【目的】

○地域福祉活動団体等の活動を支援します。

【手段】

①地域福祉活動に対する費用を助成します。

②地域福祉活動団体等が、活動しやすい環境を整えます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
ふれあい・いきいきサロンの数	箇所	ふれあい・いきいきサロンを開催している団体数	●	●
ふれあいセンターの利用者数	人	総合福祉施設ふれあいセンターの年間利用者数	●	●

基本施策 1 1 保険・福祉医療

◆現況と課題

○国民健康保険は、万一の病気やケガに備えてお互いに助け合う制度であり、国民年金や介護保険等とともに、我が国の社会保障制度の一翼を担っています。一方その収支については、近年、小牧市では財源を支える国民健康保険税が減少傾向にある一方、保険給付費は増加傾向で推移しており、一般会計からの繰入金等で歳入の不足分を補う厳しい財政状況が続いています。

~~○今後は、国による社会保障制度改革の方向性を踏まえつつ、疾病の予防及び早期発見・早期治療などによる医療費支出の適正化や保険税の収納率の向上などによる自主財源の確保に取り組み、国民健康保険事業の財政健全化を着実に推進する必要があります。~~

○今後は、国による社会保障制度改革の方向性を踏まえつつ、疾病の予防及び早期発見・早期治療並びに後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進などによる医療費支出の適正化や保険税の収納率の向上や保険税率の見直しなどによる自主財源の確保に取り組み、国民健康保険事業の財政健全化を着実に推進する必要があります。

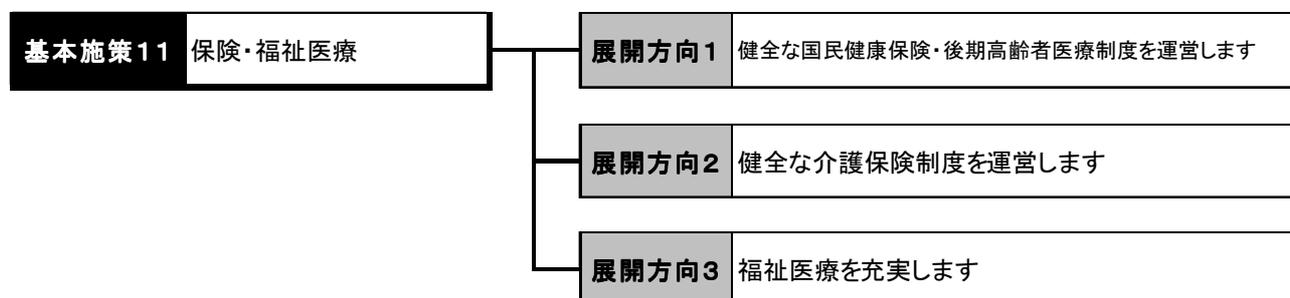
○高齢者の人口増加と医療の高度化等が見込まれることから国の動向を踏まえつつ、愛知県後期高齢者医療広域連合と協力しながら後期高齢者医療制度の適正運営と周知に努める必要があります。

○介護が必要な被保険者が必要なサービスを適正に受けることができるように、施設の整備を進めるとともに、質の高い介護サービスを提供できるように健全な介護保険制度を運営する必要があります。

○子育て支援策における子育て世代の経済的負担の軽減など特性に応じた公費負担医療制度が望まれています。

◆基本施策の目的及び体系

だれもが必要な医療・介護を安心して受けられるようにするため、保険制度の健全かつ安定的な運営と福祉医療の充実を図ります。



◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
国民健康保険税収納率（現年）	%	調定額に占める収入額の割合（※現年度分決算数値）	●	●
国民健康保険の被保険者 1 人当たりの保険給付費	円	同左	●	●
介護保険料収納率（現年）	%	調定額に占める収入額の割合（※現年度分決算数値）	●	●
介護保険の第 1 号被保険者 1 人当たりの保険給付費	円	同左	●	●

◆基本施策の展開方向 1：健全な国民健康保険・後期高齢者医療制度を運営します

【目的】

~~○被保険者が安心して医療を受けることができるようにします。~~

○被保険者が安心して医療を引き続き受けられるよう国民健康保険制度を維持・運営します。

○国民健康保険財政の安定を図ります。

○将来的な医療費の抑制を図ります。

【手段】

①被保険者に適正な医療給付を行います。

②国民健康保険制度を周知・広報するとともに、財源の確保や納税しやすい環境を整備します。

③後期高齢者医療制度の適正な運営と周知を行います。

~~④生活習慣病等の早期発見などにつながる特定健診等を推進します。~~

特定健診や疾病予防などの保健事業を推進するとともに後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進を図ります。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
国民健康保険税口座振替加入率	%	納税義務者に占める口座振替加入者の割合（特別徴収を除く）	●	●
特定健診受診率	%	国民健康保険特定健診対象者に占める受診者の割合（※法定報告値）	●	●

◆基本施策の展開方向 2：健全な介護保険制度を運営します

【目的】

○頼れる介護保険制度をめざします。

○必要な介護保険サービスの提供を推進します。

○在宅医療との連携を図る上からも、介護保険サービスの質の向上を図ります。

【手段】

- ①被保険者の状況に応じ必要なサービスを提供できるよう、調査・認定を迅速かつ公正に行います。
- ②介護保険事業計画に基づく施設整備を進めます。
- ③介護事業所職員の研修などを支援し、介護技術等の向上を促進します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値		
			H24年度	H28年度	H30年度
介護職員研修受講者	人	市が実施する介護職員研修を受講した人数	●	●	●
介護保険サービスの満足度	%	高齢者保健福祉計画での調査	●	●	●

◆基本施策の展開方向 3：福祉医療の充実を図ります

【目的】

- 子どもが必要な医療を安心して受けられるようにします。
- 社会的、経済的に弱い立場にある市民が、必要な医療を受けられるようにします。

【手段】

- ①子どもの医療費の保険診療に係る自己負担分を助成します。
- ②障がい者や母子家庭、ひとり暮らし高齢者等の保険診療に係る自己負担分を一部または全額助成します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値		
			H24年度	H28年度	H30年度
子ども医療1人あたりの助成額	円	子ども医療に対する1人あたりの小牧市助成額	●	●	●
子ども医療加入率	%	中学生以下の子ども（生活保護世帯を除く）のうち、子ども医療受給者証が交付されている割合	●	●	●
<u>子ども、障がい者、母子・父子家庭、ひとり暮らし高齢者等に対して公費医療負担制度があることを知っている割合</u>	%	<u>「子ども、障がい者、母子・父子家庭、ひとり暮らし高齢者等に対して公費医療負担制度があることを知っている」と回答した市民の割合（アンケート調査）</u>	●	●	●

Ⅲ 教育・子育て

基本施策 12 学校教育

◆現況と課題

- 平成 18（2006）年 12 月に約 60 年ぶりに教育基本法（教育関連法令の根本となる法律）が全面改正されたことを受け、平成 20（2008）年 3 月には小・中学校の学習指導要領¹が改訂され、小学校では平成 23（2011）年度から、中学校では平成 24（2012）年度から全面実施されています。
- 改訂された新しい学習指導要領は、次代を担う子どもたちが自ら学び、自ら考える力を育むことを基本に、知・徳・体の調和のとれた教育を展開することによって、確かな学力・豊かな心・健やかな体からなる「生きる力」を育むことを目的に掲げています。
- これまで小牧市では、安全で快適な学習環境の整備、教職員の指導力向上、いじめ・不登校の防止、調和のとれた人間形成への支援などを通じ、次代を担う力を持った子どもたちの育成に取り組んできました。この結果、平成 23（2011）年度において「学校が楽しい」と感じる子どもの割合は 92.6%に達しています。
- 今後も引き続き、次代を担う子どもたちの「生きる力」を育むため、いじめの解決率の向上や不登校児童・生徒の出現率の低下、日本語教育が必要な児童・生徒や発達等に課題がある児童・生徒への対応に努めるとともに、安全で快適な教育環境を支える学校施設の計画的な整備を推進する必要があります。

◆基本施策の目的及び体系

学校・家庭・地域との連携・協力のもと、知・徳・体の調和のとれた人格形成を目指します。~~個々の児童生徒の心身の発達に応じた教育を行うことを通して、それぞれの能力を伸ばすとともに、~~社会において自立して生きていくための基礎的な力を養います。

基本施策 12 学校教育

展開方向 1 安全で快適な教育環境を整備します

展開方向 2 安全でおいしい学校給食を提供します

展開方向 3 教育力を向上し、調和のとれた人格形成を支援します

¹ 幼稚園、小・中・高等学校及び特別支援学校において、どのような内容をどの学年で、どのくらい学習するかなどを示した教育課程を編成する際の基準を定めたもの。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H28 年度
<u>子どもが学校へ元気に通い、学校で楽しく過ごしていると感じる保護者の割合</u>	%	<u>「子どもが学校へ元気に通い、学校で楽しく過ごしている」と回答した保護者の割合（アンケート調査）</u>	●	●
学校が楽しいと感じる子どもの割合	%	「学校が楽しい」と回答した子どもの割合（アンケート調査）	●	●

◆基本施策の展開方向 1：安全で快適な教育環境を整備します

【目的】

○子どもたちがより安全で快適に学べる教育環境を確保します。

【手段】

- ①校舎・体育館等における非構造部材の耐震改修、老朽化した施設・設備の改修や、ICT機器の更新などを計画的に推進します。
- ②学校、道路管理者、警察などの関係機関や保護者、地域住民との連携・協力のもと、通学路の交通安全対策を推進します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
市立小・中学校の非構造部材耐震改修実施校数	校	市立小・中学校の校舎・体育館等の非構造部材耐震改修済みの学校数（小牧小学校・味岡中学校を除く 23 校）（累計）	●	●
通学路の安全対策実施率	%	平成 24 年度に行った通学路緊急合同点検で報告された危険・要注意箇所における安全対策の実施率	●	●

◆基本施策の展開方向 2：安全でおいしい学校給食を提供します

【目的】

- 安心・安全な学校給食を提供します。
- 望ましい食習慣や食生活に対する児童・生徒の理解を促進します。

【手段】

- ①学校給食センターの施設・設備の計画的な改修を推進します。
- ②学校給食における食育や地産地消を推進します。
- ③衛生管理の徹底を図るとともに食物アレルギーへの対応などに取り組みます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
給食が楽しみと感じる児童・生徒の割合	%	「学校給食が楽しみと感じる」と回答した児童・生徒の割合	●	●
学校給食で地元農産物を使った日数の割合	%	同左	●	●

◆基本施策の展開方向3：教育力を向上し、調和のとれた人格形成を支援します

【目的】

- 教養と力量を兼ね備えた教員を育成します。
- 教育の今日的な課題や小牧市の特色に対応した教育を進めます。
- いじめや不登校、非行などの問題行動の発生を防止します。
- 児童生徒のより健全な育成を推進します。
- 円滑な学級運営や児童・生徒の授業理解度の向上を図ります。
- 小・中学校における部活動の振興を図ります。
- 八雲町児童と共に理解を深め、子どもの成長を促し、将来的展望に立った次代の人づくりを目指します。
- 向学心に富みながら、経済的理由により進学が困難な生徒を支援します。
- 児童・生徒の保護者の経済的な負担を軽減します。

【手段】

- ①教職員に対する各種研修を推進します。
- ②小・中学校における英語指導を支援します。
- ③外国人児童・生徒に対する日本語教育の充実を図ります。
- ④学校が行う地域の特色に対応した活動や、学習指導に関する調査研究を支援します。
- ⑤いじめや不登校対策として相談活動等の充実や、保護者・学校・地域等の関係機関との連携を強化します。
- ⑥家庭訪問、パトロール、緊急補導などへの支援や、児童・生徒の健全育成を目的とする各種研修を推進します。
- ⑦不適応を起こしている児童生徒への適切な支援・指導を行ない、心を支える環境を整備します。
- ⑧市単独で小・中学校に非常勤講師を配置し、複数の教員による児童・生徒の理解度に応じた教育を推進します。
- ⑨部活動における総合体育大会、吹奏楽コンクールの派遣費用を負担します。
- ⑩八雲町児童との学習交流を行い、お互いのふるさとを学び合い理解を深め、子どもの成長を促します。
- ⑪経済的理由により高等学校等への進学が困難な生徒に対して、入学準備金の支給による経済的支援を行います。
- ⑫経済的な理由により市内小中学校への就学が困難な児童生徒の保護者に対して、その費用の一部を助成します。
- ⑬私立高等学校等の授業料に対する助成を行います。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
市内小中学校における不登校者のうち、登校できるようになった者及び、よい変化があった者の割合	%	登校できるようになった者及び、よい変化があった者の数／不登校児童生徒数	●	●
児童の授業理解度（小学国語）	%	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査において、国語・算数（数学）の授業が理解できるかとの質問に「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した児童・生徒の割合	●	●
児童の授業理解度（小学算数）	%		●	●
生徒の授業理解度（中学国語）	%		●	●
生徒の授業理解度（中学数学）	%		●	●
都市間交流事業参加児童の保護者で「交流を通して、子どもが成長した」と回答した割合	%	都市間交流事業参加児童の保護者へのアンケート調査	●	●

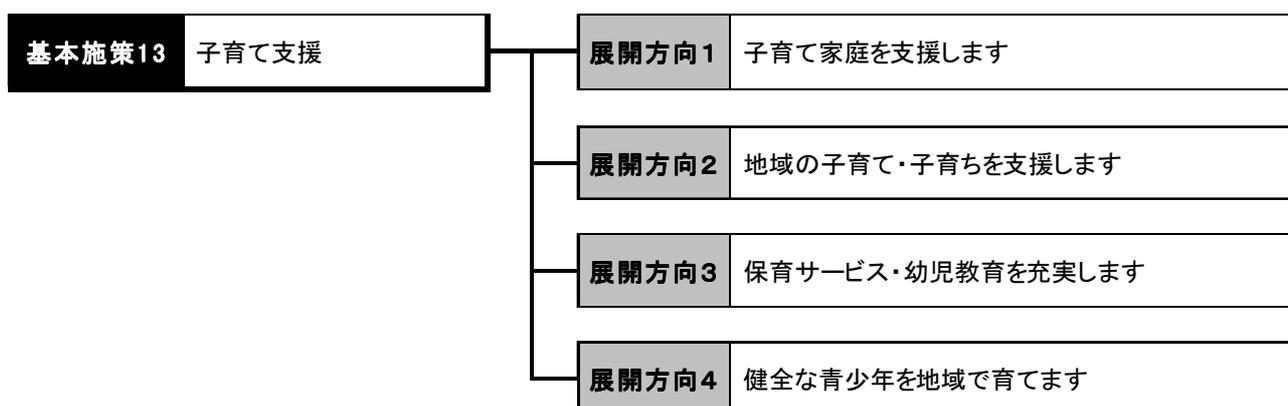
基本施策 13	子育て支援
----------------	--------------

◆現況と課題

- 現在、全国的に家族構成の変化や地域におけるつながりの希薄化などによって、子育てに不安や孤立感を感じる保護者が少なくない状況にあります。また、世界にも類を見ないスピードで少子高齢化が進行している一方、出産後も働き続ける女性や共働き夫婦が増え、低年齢児の保育園における待機児童が増加しています。
- 1人の女性が一生に産む子どもの平均数を示す合計特殊出生率について、小牧市の過去4年間の推移をみると、平成20(2008)年を境に増加傾向に転じているものの、平成22(2010)年では1.36と愛知県の1.52、全国の1.39を下回っている状況にあります。
- このような状況下、より多くの人々の子どもを産み、育てたいという希望を叶えるために、社会全体で安心して妊娠、出産、子育てができる支援体制を構築するため、国は子ども・子育て関連3法を整備し、平成27年度から、子ども・子育て支援新制度をスタートさせることとなりました。
- 今後、小牧市においても子ども・子育て支援制度に基づく支援事業計画を作り、子育てに関する様々な相談などに対応できる仕組みづくりや、地域全体で子ども・子育てを支援する体制の構築をより一層積極的に推進する必要があります。

◆基本施策の目的及び体系

子育てをしているだれもが、安心して子育てができる体制を整えるとともに、子ども自身が健やかに成長できる環境を整えます。



◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
合計特殊出生率	%	15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数	●	●
小牧市は、安心して子育てができると思う市民の割合	%	「小牧市は、安心して子育てができると思う」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
これからも小牧で育っていききたいと思う子どもの割合	%	「これからも小牧で育っていききたいと思う」と回答した子どもの割合（アンケート調査）	●	●

◆基本施策の展開方向 1：子育て家庭を支援します

【目的】

○家庭環境の多様化に伴う子育てに関する家庭力を補完します。

【手段】

- ①ファミリー・サポート・センター²の活動により、支援が必要な子育て家庭の支援をします。
- ②ひとり親家庭など、就労等が困難な子育て家庭の経済的な負担の軽減を図ります。
- ③関係機関との連携・協力のもと、児童虐待に関する相談や適切な保護に取り組みます。
- ④放課後児童クラブの受入学年の拡大に取り組みます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
児童虐待の発生件数	件	実務者会における報告延べ件数	●	●
放課後児童クラブの待機児童数	人	放課後児童クラブの利用を待機している児童数	●	●

◆基本施策の展開方向 2：地域の子育て・子育てを支援します地域で行なう子育てを支援します

【目的】

○地域全体で子どもが健やかに成長し、保護者が安心して子育てができるよう、~~子育てに関する~~地域力を向上させます。

【手段】

- ① 子どもたちの夢へのチャレンジを応援する制度などを創設します。

² 「仕事と育児の両立のために」を目標に、子育ての手伝いをしたい援助会員と子育ての手助けをして欲しい依頼会員が、お互いに助け合いながら活動する組織。

【資料 1-2】Ⅲ 教育・子育て

- ②④地域における子育て支援のための拠点施設として、子育て支援センターや児童館の子育て支援室の機能を強化するとともに、安心して遊べる場を提供します。
- ③児童館で行っている英語に親しむプログラムを充実します。
- ④⑤地域ぐるみで子ども・子育て支援を総合的に推進できるよう、「行政、市民、保護者及び事業者が果たすべき責務又は役割」などを掲げた「(仮称)地域子育て条例」を制定します。
- ⑤⑥補助金の交付などを通じ、地域の子ども会組織の育成に寄与することを目的としている団体「小牧市子ども会連絡協議会」の事業を支援します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
児童館及び子育て支援センター利用者数	人	子育て支援室及び子育て支援センターの利用者の数	●	●
子ども会に加入している子どもの数	人	子ども会連絡協議会に加入している子どもの数	●	●

◆基本施策の展開方向 3 : 保育サービス・幼児教育を充実します

【目的】

- 待機児童の解消を図ります。
- 保育園児にとっての安心かつ快適な保育環境を推進します。
- 保護者の多様な保育ニーズに対応します。
- 3～5歳の幼児を対象とした教育機会を拡充します。

【手段】

- ①低年齢児を多く受け入れられることができる(仮称)みなみ保育園の新設や既存保育園の改修を行います。
- ②老朽化した園舎の改築や修繕工事などを推進します。
- ③低年齢児の受け入れ、一時保育や休日・延長保育サービスなどの多用な保育サービスを充実させるとともに、特色ある保育サービスを提供するため保育園の民営化を進めます。
- ④共同保育所へ待機児童の保育を委託するとともに経費の一部について助成します。
- ⑤保育園の行事を通じて、地域住民との交流を行います。図ります。
- ⑥私立幼稚園の保育料や私立幼稚園の運営などに対する助成を行います。
- ⑦希望する幼稚園の認定こども園化への支援を行いません。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
保育園の待機児童数	人	保育園に入園資格があり希望したが、入園できない児童数	●	●

◆基本施策の展開方向 4：健全な青少年を地域で育てます

【目的】

- 地域ぐるみで青少年の非行を防止します。
- 子どもたちの社会性を育てます。
- 親と子がお互いの理解を深められるようにします。

【手段】

- ①青少年健全育成市民会議や校区健全育成会と連携を図りながら、相談事業や計画的な街頭パトロールを強化します。
- ②子どもが子ども同士や地域の大人と交流ができる機会の充実を図ります。
- ③親子で参加できる体験活動事業などの充実を図ります。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
青少年の補導件数	件	青少年の補導件数	●	●
中学生の地域活動への参加率	%	中学校生徒数に対する地域活動参加者の割合	●	●

Ⅳ 文化・スポーツ

基本施策 14 スポーツ

◆現況と課題

- 小牧市では、平成 22 (2010) 年 10 月に策定した「小牧市スポーツ振興計画 (目標年度: 平成 31 (2019) 年度)」のもと、市民一人ひとりが心身ともに健やかな生活が送れるよう、スポーツ・レクリエーションを通じ、市民の健康保持・増進を図ることを目指しています。
- 市内の主要なスポーツ施設の利用者数は、平成 10 (1998) 年度の約 49 万人から平成 23 (2011) 年度の約 110 万人へと大きく増加していますが、その内訳をみると、南スポーツセンター水泳プールや武道館、パークアリーナ小牧では利用者が急増している一方、利用者が伸び悩んでいる施設も見受けられます。
- スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民の健康保持・増進を図るため、子ども・成人・高齢者などのライフステージや、肥満予防・ダイエット・転倒防止などの目的に応じたスポーツプログラムの提供と普及に努める必要があります。
- 今後、既存のスポーツ施設では、経年による老朽化の進行に伴い、施設の機能低下や維持管理にかかる経費の増大が懸念されます。このため、各施設の利用実態や老朽化の度合いなどを踏まえつつ、計画的な整備を推進する必要があります。

◆基本施策の目的及び体系

健康づくりの一環として、だれもが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツを楽しむことができるよう、スポーツを生活の中に取り入れる環境（仕組）を整えます。

基本施策 14 スポーツ

展開方向 1 スポーツ活動の機会を充実させます

展開方向 2 スポーツ施設を計画的に整備します

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
市民（成人）の週 1 回のスポーツ実施率	%	「週に 1 度は運動をしている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
体育施設の年間利用者数	人	温水プール、勤労センターテニスコート・体育館、まなび創造館スポーツセンター、スポーツ公園運動施設、総合運動場、大輪体育館、さかき運動場、南スポーツセンター武道館・グラウンド・水泳プールの年間利用者数	●	●

◆基本施策の展開方向 1：スポーツ活動の機会を充実させます

【目的】

- それぞれの年齢や体力、興味・目的などに応じて、より多くの市民がスポーツに親しむことができる環境を整えます。

【手段】

- ①より多くの市民がスポーツに親しめるように、スポーツ大会の開催やスポーツ教室などを実施します。~~を「する」「みる」「ささえる」活動に取り組める多様な参加機会を確保します。~~

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
各種スポーツ教室・講座参加者満足度	%	「受講した教室・講座に満足している」と回答した参加者の割合（アンケート調査）	●	●
市民スポーツ大会等への参加者数	人	同左	●	●
各種スポーツ教室・講座への参加者数	人	同左	●	●
（公財）小牧市体育協会の加入者数	人	同左	●	●
スポーツ振興会を知っている市民の割合	%	「スポーツ振興会を知っている」と回答した市民の割合	●	●

◆基本施策の展開方向 2：スポーツ施設を計画的に整備します

【目的】

- 市民がスポーツ施設を安全に利用できる環境を整えます。

【手段】

- ①既存スポーツ施設の利用実態や老朽化の状況を踏まえた計画的な整備を推進します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
公共のスポーツ施設の利用者満足度	%	対象施設：スポーツ公園運動施設、総合運動場、大輪体育館、さかき運動場、南スポーツセンター、温水プール	●	●
<u>公共のスポーツ施設の利用者満足度（スポーツ公園運動施設）</u>	%	<u>同左（利用者アンケート調査）</u>	●	●
<u>公共のスポーツ施設の利用者満足度（南スポーツセンター）</u>	%	<u>同左（利用者アンケート調査）</u>	●	●
<u>公共のスポーツ施設の利用者満足度（温水プール）</u>	%	<u>同左（利用者アンケート調査）</u>	●	●

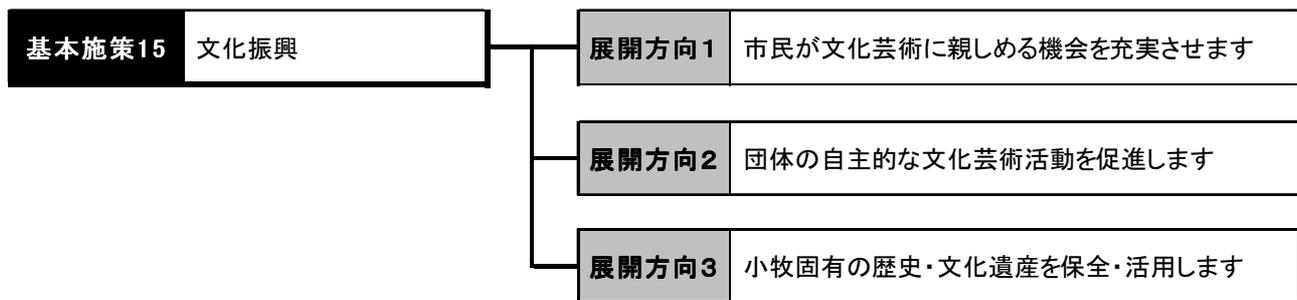
基本施策 15 文化振興

◆現況と課題

- 文化や芸術は、人々の暮らしに楽しさや感動、安らぎをもたらすとともに、創造性や様々な文化に対する理解を通じて豊かな心を育んでいます。また、地域の歴史や伝統を尊び、学ぶことは、地域への誇りや愛着の醸成につながり、今後ますます国際化が進展すると見込まれる中で、その取組の重要性が高まっています。
- 小牧市では、平成 23（2011）年度に「第 2 次小牧市文化振興ビジョン 2011-2020」を策定し、「市民とともにつくる文化のまち こまき」を基本目標に掲げ、市民と行政の協働による文化振興に取り組んでいます。
- 協働のパートナーとして、市内には多種多様な分野にわたる文化芸術団体が活動していますが、それぞれの団体では、会員の固定化や高齢化が進んでいることから、文化振興に対する幅広い世代の関心を高め、具体的な活動への参加を促進することが課題となっています。
- 小牧市のシンボルである小牧山は、史跡公園や園路が整備され、緑豊かな憩いの場として、多くの市民に利用されています。近年の発掘調査によって山頂付近で当時の石垣が発見され、これまでの常識を打ち破る信長公の革新的な城づくりの姿が徐々に明らかとなり、近世城郭へとつながる原型ではないかと大きな注目を浴びています。史跡小牧山の整備については、合瀬川緑道整備、小牧駅前線の延伸などの周辺整備とあわせ、駐車場・駐輪場のほか、交通ルート案内図の整備など小牧山の歴史と自然、景観とが調和した整備を進める必要があります。

◆基本施策の目的及び体系

幅広い世代が自主的に文化芸術活動に取り組める環境を整えるとともに、小牧固有の歴史や文化、伝統にふれあう機会を充実させます。



◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
日頃から文化芸術に親しんでいる市民の割合	%	「日頃から文化芸術に親しんでいる」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
小牧の歴史・文化に興味・関心を持っている市民の割合	%	「小牧の歴史・文化に興味や関心を持っている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●

◆基本施策の展開方向 1：市民が文化芸術に親しめる機会を充実させます

【目的】

○市民がより身近に優れた文化芸術に親しめる機会を確保します。

【手段】

①舞台芸術祭や音楽祭、演奏会、美術展、講座の開催などを通じ、多様な文化芸術を鑑賞する機会や活動成果の発表機会を充実させます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
市主催の文化芸術イベントへの来場者数	人	小牧市が主催する文化芸術イベントへの来場者数	●	●
来場者の満足度	%	「文化芸術イベントに満足している」と回答した来場者の割合(アンケート調査)	●	●

◆基本施策の展開方向 2：団体の自主的な文化芸術活動を促進します

【目的】

○子どもから高齢者まで幅広い世代の市民による主体的な文化芸術活動を促進します。

【手段】

- ①市内に拠点を置く文化芸術団体の活動を支援します。
②子どもの頃から伝統文化や文化芸術活動を体験できる機会を確保します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
支援を行った文化芸術団体の事業参加者数	人	同左	●	●
子ども又は親子で参加する文化体験教室等の参加者数	人	文化体験教室等に参加する子ども及び保護者の数	●	●

◆基本施策の展開方向 3：小牧固有の歴史・文化遺産を保全・活用します

【目的】

○市民共有の財産である小牧固有の歴史・文化遺産を将来にわたって継承します。

【手段】

- ①小牧山をはじめとする市固有の歴史・文化遺産~~のを将来にわたって継承するため~~、適切な保護・保存・管理に努めます。
②展示会や講座、講演会の開催などを通じ、より多くの人々が小牧固有の歴史・文化遺産にふれ

られるようにします。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
指定文化財の数	件	国、県及び市指定文化財の数	●	●
小牧市のシンボルが小牧山であると思う市民の割合	%	「小牧山は小牧市のシンボルと思う」と回答した市民の割合(アンケート調査)	●	●
歴史・文化講座の参加者数	人	同左	●	●

基本施策 16 生涯学習

◆現況と課題

- 災害時の助け合いや要援護者の見守りなど、全国的に様々な面で地域を取り巻く課題が複雑化している中、生涯学習に期待される役割も変化しており、従来のように個人の生きがづくりだけではなく、人々が生涯学習で得た成果を地域の教育力の向上やより良い地域づくりに活かすことが求められています。
- 現在、小牧市では、平成 25 (2013) 年 3 月に策定した「第 3 次小牧市生涯学習推進計画 (目標年度：平成 31 (2019) 年度)」のもと、「であい、まなびあう：学びの機会と環境の整備」「いかす：学びの成果が社会に還元される仕組みづくり」「つなげる：生涯学習活動の輪の拡大と地域力向上」の 3 本柱とする事業を展開し、学びの好循環による生涯学習のまちづくりに取り組んでいます。
- 同計画の策定に際して実施した市民意識調査によると、生涯学習に関心を持つ市民の割合は約 5 割と高いものの、実際に活動を行っている市民の割合は約 3 割にとどまっています。このような実態を踏まえ、より多くの市民が活動に取り組めるようにするためには、様々な機会を活かした活動のきっかけづくりや、生涯学習に関する情報提供及び相談体制などを強化する必要があります。

◆基本施策の目的及び体系

市民一人ひとりが生涯にわたって様々な学習活動に取り組み、その成果をより良い地域社会づくりに活かすことで、地域力の向上につなげます。

基本施策 16 生涯学習

展開方向 1 学習の機会を提供します

展開方向 2 学習活動を支援します

展開方向 3 図書館サービスを充実させます

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	%	「この一年間に生涯学習に関する活動を行っている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
生涯学習活動による成果を地域社会に活かしている市民の割合	%	「生涯学習活動に関する活動で身につけた知識や技能をボランティア活動や地域や社会の活動に活かしている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
市民の図書館に対する満足度	%	「小牧市立図書館に満足している」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●

◆基本施策の展開方向 1：学習の機会を提供します

【目的】

○日常的に~~何らかの~~生涯学習活動に取り組んでいる市民を増やします。

【手段】

①年代やニーズを踏まえながら、より多くの市民が生涯学習活動に参加できるよう講座などを開催します。~~する機会を提供します。~~

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
市民講座が開かれていることを知っている市民の割合	%	「市民講座が開かれていることを知っている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
1年以内に市民講座を受講したことがある市民の割合 市民講座受講者数	%	「1年以内に市民講座を受講したことがある」と回答した市民の割合（アンケート調査） 同左	●	●
市民講座を受講して、社会貢献活動してみたいと思った市民の割合	%	「市民講座を受講して、社会貢献活動してみたいと思った」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●

◆基本施策の展開方向 2：学習活動を支援します

【目的】

○学習活動に必要な情報を得やすくします。

○より良い地域社会づくりに向けた市民主体の地域活動を支援します。

○安全で快適な学習活動の場を確保します。

【手段】

- ①学習を始めたい時や学んだ成果を活かしたい時など、様々な場面に応じた適切な情報発信や相談体制を充実させます。
- ②学んだ経験や成果を様々な形で地域社会に活かすことができる仕組みを充実させます。
- ③既存の生涯学習施設の計画的な整備を推進します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
こまなびサロンを知っている市民の割合	%	「こまなびサロンを知っている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
生涯学習に関する相談件数	件	こまなびサロンで受けた相談件数	●	●
社会活動の支援や指導に関わってみたいと思う市民の割合	%	「社会活動の支援や指導に関わってみたい」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●

◆基本施策の展開方向 3：図書館サービスを充実させます

【目的】

- 図書館を生涯学習活動の拠点として、より多くの市民が利用できるようにします。
- 子どもの頃から読書の習慣を身に付け、読書を通じて豊かな心が育まれるよう支援します。

【手段】

- ①図書、雑誌、新聞、視聴覚資料などの多種多様な資料の提供を行います。
- ~~②新たな図書館の建設に向け、様々な可能性の検討を進めます。~~
- ②現在の図書館の問題点を把握し、誰もが利用しやすい図書館の建設を検討します。
- ③市内各小・中学校へ図書の専門的知識を有する図書館司書を~~を~~配置を推進します。
- ④ブックスタート¹を手始めに、乳幼児向けの読み聞かせを定期的で開催します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
図書館の1日あたりの貸出利用者数 市民一人あたりの図書などの年間貸出冊数	六冊	本館、各市民センター図書室、えほん図書館の利用者数 <u>(図書館統計資料)</u>	●	●
1年以内に図書館を訪れたことがある市民の割合	%	「1年以内に図書館（えほん図書館、各市民センター図書室含む）」	●	●

¹ 4か月児の赤ちゃんへ絵本の読み聞かせを行い、絵本をプレゼントする事業
文化・スポーツ-8

【資料 1-2】Ⅳ 文化・スポーツ

		を訪れたことがある」と回答した市民の割合（アンケート調査）		
<u>おはなし会等の参加人数</u>	人	<u>本館、えほん図書館等で開催するおはなし会等の参加者数（図書館統計資料）</u>	●	●

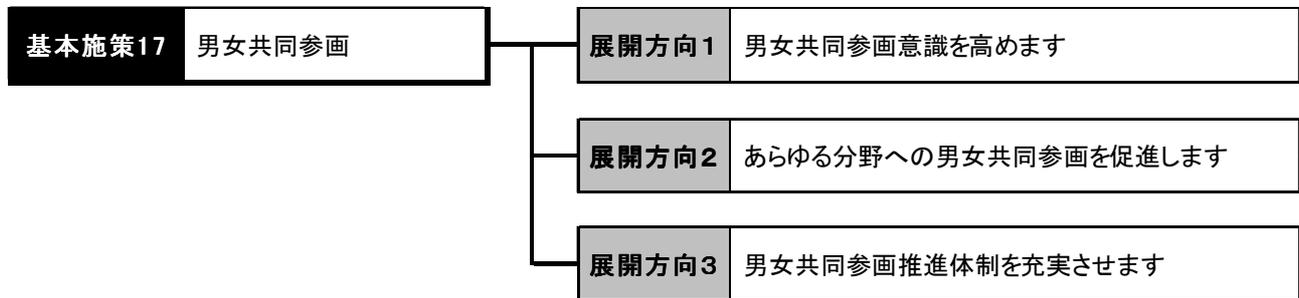
基本施策 17 男女共同参画

◆現況と課題

- 小牧市では、平成 15（2003）年 4 月に「小牧市男女共同参画条例」を施行し、男女が、互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画し、性別に関わりなく自らの意思と選択に基づいて自分らしく生きることができる男女共同参画社会の実現を目指しています。
- 近年、小牧市では、男女共同参画に対する意識の高揚や様々な分野への男女共同参画の促進、相談対応や講座開催などを通じた男女共同参画推進体制の充実に努めています。これらの取組の結果、「男女の区別なく活動できていると感じる市民の割合」は、平成 24（2012）年度には対平成 20（2008）年度比での 4 ポイント増の 60.5%となっています。
- 男女共同参画社会の実現に向け、今後も引き続き、国や県、関係団体との連携・協力のもと、男女共同参画に対する意識の高揚やより広範な分野への男女共同参画の促進、男女共同参画推進体制の充実に取り組む必要があります。

◆基本施策の目的及び体系

男女がお互いにその個性と能力を十分に発揮することによって、多様性に富んだ活力ある男女共同参画社会の実現を目指します。



◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
男女の区別なく活動できていると感じている市民の割合	%	「男女の区別なく活動できている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
子育て・介護と仕事の両立のための支援が充実していると感じる市民の割合	%	「子育て・介護と仕事の両立のための支援が充実している」と感じると回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●

◆基本施策の展開方向 1：男女共同参画意識を高めます

【目的】

○男女の固定的な性別役割分担意識の解消と男女共同参画への理解を促進します。

【手段】

- ①男女共同参画に対する市民意識の変化を継続的に把握します。
- ②各種講座・講演会の開催などを通じた広報・啓発活動及び学習機会を充実します。
- ③子どもの頃からの男女共同参画の理解を促進するために、将来を見通した自己形成ができるような広報・啓発活動を進めます。
- ④男性が、固定的性別役割分担意識から脱却するための広報・啓発活動を進めます。
- ⑤④各行政区への男女共同参画普及員²の配置を推進します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
男女共同参画という言葉の意味を知っている市民の割合	%	「男女共同参画という言葉の意味を知っている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
男女共同参画をテーマとした各種講座・講演の参加者数	人	男女共同参画をテーマとした各種講座・講演の参加者の数	●	●

◆基本施策の展開方向 2：あらゆる分野への男女共同参画を促進します

【目的】

○職場・家庭・地域など、あらゆる場面における男女共同参画の実現を支援します。

【手段】

- ①市の審議会などへの女性の登用を増やします。積極的に推進します。
- ②ワーク・ライフ・バランス（仕事と子育てや介護などの仕事以外の生活との調和）の普及や、その実現に向けた職場・保育・介護環境の整備を支援します。
- ③情報交換や交流会の開催などを通じ、女性団体間のネットワークを強化し、ウィメンズネットこまきへの加入団体を増やします。
- ④経済的に困難な状況にある女性の自立を支援します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
審議会等附属機関への女性の登用率	%	審議会等の女性委員数／審議会等の委員数	●	●
ウィメンズネットこまきの加入団体数	団体	同左	●	●

² 男女共同参画意識を高め、各地区で男女共同参画の推進・普及を働き掛けることなどを目的に、平成 19（2007）年度から区長の推薦により配置。

◆基本施策の展開方向 3：男女共同参画推進体制を充実させます

【目的】

○男女共同参画を推進するための体制を充実させます。

【手段】

- ①女性センターを男女共同参画社会実現に向けた推進拠点とし、時代に適応した学習機会の提供や情報の収集・発信を推進します。
- ②女性が抱える人間関係などの悩みを救済するための相談体制を充実させます。
- ③女性が長期的な視点でキャリアデザインを描けるよう、キャリア教育を推進します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
女性相談の窓口を知っている女性の割合	%	「女性相談の窓口を知っている」と回答した女性の割合（アンケート調査又は平成 26 年度実施予定の男女共同参画に関する市民意向調査）	●	●
女性相談でDV相談が受けられると知っている女性の割合	%	女性相談の窓口の中でDV相談が受けられることを知っていると回答した女性の割合	●	●